

ANTA

NEWS

vol.278



がんばろう!日本

巻頭特集

年頭挨拶 二階会長・嵯川観光庁長官

第19回 国内観光活性化フォーラムin東京 いよいよ開催

協会情報

第212回 理事会・第57回 常任理事会

令和6年度 ANTA主催 苦情対応勉強会を実施

令和6年度 ANTA・JATA共催 苦情対応セミナーを実施

令和6年度 秋の叙勲 駒井副会長が旭日双光章を受章

2025大阪・関西万博の開催に向けた意見交換会を実施

令和6年度 旅行業務取扱管理者定期研修の開催

令和6年度 国内旅程管理研修を実施

特別寄稿

あれから13年、福島の「今」



巻頭特集

年頭挨拶 二階会長・萩川観光庁長官 2・3

新年のご挨拶 三役・支部長・監事 4・5

第19回 国内観光活性化フォーラムin東京 いよいよ開催 6

協会情報

第212回 理事会・第57回 常任理事会 8

令和6年度 ANTA主催 苦情対応勉強会を実施 10

令和6年度 ANTA・JATA共催 苦情対応セミナーを実施 10

令和6年度 秋の叙勲 駒井副会長が旭日双光章を受章 10

2025大阪・関西万博の開催に向けた意見交換会を実施 11

令和6年度 旅行業務取扱管理者定期研修の開催 11

令和6年度 国内旅程管理研修を全国4会場で実施 11

支部だより／山形県支部・東京都支部 16・17

観光庁 旅行・観光消費動向調査 2024年7～9月期 速報 22

令和6年9月～11月 正会員入会者 24・25

全旅協の動き 26

寄稿

〈経済産業省 資源エネルギー庁 特別寄稿〉
あれから13年、福島「今」～東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業とALPS処理水～ 12・13

コラム

連載「添乗からのメッセージ」(第79回) 19・20

[ANTA NEWS] 2025年新春号

発行元 一般社団法人 全国旅行業協会 〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂ジャスタースビル3階
発行日 令和7年1月1日 発行
※本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。



開催期間
2025年 4月13日(日) - 10月13日(月)
開催場所
大阪 夢洲 (ゆめしま)
万博チケット

令和7年を迎えるにあたり

一般社団法人

全国旅行業協会

会長

二階

俊博



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

旧年は、我が国の観光立国の実現に向けて大きな一歩を踏み出すことができた年となりました。日本を訪れる外国人観光客数は、コロナ前の2019年の水準を上回るとともに、国内観光も個人旅行を中心に活況を取り戻し始めました。他方で、日本人による海外旅行需要は依然として低迷しており、バランスのとれた国際交流が行えているとはいえない状況が続

き、団体旅行もコロナ前の水準までの回復には至っておりません。また、サービス提供機関における人手不足やオンラインツーリズムなど、かねてより言及されていた課題が顕著となった年でもありました。

新たに迎える2025年は、コロナからの回復を実現した観光業界が次のステップへ進むための一年にしなければなりません。観光業は、国の基幹産業であり、地方創生の切り札であることは申し述べるまでもなく、持続的に成長し、社会をより豊かにしなければならぬという責務を担っておりま

す。そのためには、地元行政、地域住民の皆様と同じ目標に向けて、それぞれ知恵を出し合いながら、スクラムを組んで進んでいくことが肝要です。本年は、観光を通して、社会がより一層明るくなるよう、皆様にはご尽力いただきました

また、本年4月には、日本では愛知万博以来20年ぶりとなる大阪・関西万博がいよいよ開幕されます。今回の万博は、テーマである「SDGs達成への貢献」「Society 5.0の実

現」に向けて、世界の英知を結集した世界的にも注目度の高い国際イベントであり、国内外から数多くの旅行者が訪れます。観光業界に携わる皆様一人ひとりが観光大使となったつもりで、日本や関西の素晴らしさをアピールし、観光業界が飛躍するための起爆剤にしていなければと存じます。

当協会としても、持続可能な観光地域づくり、多様化する旅行ニーズへの対応、利益率の高い高付加価値商品の造成促進などの取組を通して、会員が存分に力を発揮できる環境を構築し、地域振興に貢献してまいります。

本年1月28日には東京都で「第19回国内観光活性化フォーラム in 東京」を開催いたします。本フォーラムは、当協会47支部組織、全国のANTA会員並びに観光関係の皆様が一堂に会し、「ようこそ、まだ見ぬ東京へ」のスローガンのもと、開催地である東京都への送客を促進するとともに、国内旅行及び地域観光の更なる需要拡大を図ることを目的とした大会となります。本フォーラムが旅行業界の活性化を導く、実り大きな成果が上げられるよ

う、全力を尽くしてまいります。

さらに、日本人による海外旅行やインバウンドの国際往来につきましても、近隣諸国を中心に、より活発な交流が行われるよう取り組んでまいります。私はかねがね「観光は平和産業」と申し述べておりますが、国際交流が盛んになることで、お互いの国への理解が深まり、国民同士の絆が結ばれ、新たな観光需要が生み出されることとなります。観光での交流で得た絆は、不安定な社会情勢にも左右されがたい、国の宝であります。ANTA会員の皆様が先頭に立ち、多くの日本人が外国の文化に触れ、多くの外国人が日本の文化の素晴らしさを経験する機会を大いに創出していただきたく存じます。

観光が明るくなれば、世の中は必ず明るくなります。これまで培ってきた長年の経験と英知を結集して、全国各地の元気を取り戻すべくANTA会員一丸となり、我が国の観光産業が更なる飛躍を遂げる年となりますよう、総力を挙げて共に奮起してまいります。

明けましておめでとうございます。

2025年の新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

観光庁長官

萩川 直也



人口減少が進む我が国にとって観光は成長戦略の柱、地域活性化の切り札です。昨年は、訪日需要の高まりや、円安等の影響に加え、持続可能な観光立国の推進に向けて政府を挙げて取り組んだ結果、訪日外国人旅行者数や消費額の回復が急速に進み、観光は力強い成長軌道に乗っているものと受け止めております。

例えば、昨年11月の訪日外国人旅行者数について、コロナ前の2019年と比べた回復率は単月で131%となり、2023年10月以降、毎月コロナ前の水準を回復しております。また、訪日外国人旅行消費額については、1-9月期の累計は約59兆円となり、訪日者数消費額ともに過去最高を大きく更新する勢いとなっております。さらに、日本人の国内旅行消費額についても、年22兆円の政府目標達成が視野に入

るペースとなっています。本年は、こうした良い流れを更に確固たるものとし、2023年3月に策定した観光立国推進基本計画に掲げる「持続可能な観光」の

実現に向けて「層注力すべく、「地方を中心としたインバウンド誘客」「持続可能な観光地域づくり」「国内交流拡大」の3つの分野の取組を強力に推進していきたいと考えています。

まず第1に、地方を中心としたインバウンド誘客です。訪日外国人旅行者数消費額ともに過去最高ペースで推移している一方、三大都市圏にインバウンドの宿泊全体の約7割が集中するなど、コロナ前と比べても都市部を中心とした地域への偏在傾向が見られており、訪日外国人旅行者1人あたりの地方部における宿泊数を2泊にするという目標は達成できていません。

こうした現状を踏まえ、地方の真の魅力を引き出し、外国人旅行者が地方を訪れて交流を深め、具体的な消費活動に繋げるための特別な体験の提供や高付加価値な観光地づくりに取り組んでいるところで

特に、高付加価値旅行者の地方への誘客の強化については、昨年9月に3地域をモデル観光地に追加し、14地域のスタープランに基づく取組を引き続き集中的に支援するとともに、その成果やノウハウを他の地域へも伝播させ、観光を通して地域活性化を促進してまいります。

また、あらゆる機会を捉えたインバウンド需要開拓のため、本年開催される大阪・関西万博などの大規模イベントを契機としたJNTOによる情報発信や商品造成の促進等を進めてまいります。

更に、高い消費効果や参加者の長期滞在など大きな経済効果をもたらすMICEの誘致開催を促進していくことが重要です。このため、各地域におけるMICE開催地としての魅力向上・発信やMICE施設における受入環境整備、コンベンションビュローの機能高度化

等を推進していくことにより、地方都市を含め全国における誘致体制の抜本的強化を図ってまいります。

加えて、アウトバウンドについては、インバウンドと比較して回復が遅れているものの、アウトバウンドの促進は日本人の国際感覚の向上や国際相互理解の増進等の観点から重要であることから、海外教育旅行の促進等に取り組むとともに、関係省庁、関係業界や各国の政府観光局などと連携して、双方向交流拡大に向けて取り組んでまいります。

第2に、持続可能な観光地域づくりです。持続可能な観光地域づくりにおいては、環境、文化、社会・経済面の持続可能性が必要です。基本計画では、2025年までに持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数を計画策定時の12カ所から100カ所、国際的な認証・表彰を受けた地域数を50カ所とすることを目標としており、年内の目標達成に向け、日本版持続可能な観光ガイドラインの実践を通じて優良モデルの構築や観光計画の策定をより一層促進してまいります。

また、国内外の観光需要が回復し、力強い成長軌道に乗っている中で、観光客が集中する一部の地域や時間帯等においては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活の影響や、旅行者の満足度の低下への懸念といった課題が生じております。こうした課題に対処するため、2023年10月に策定した「オーバーツーリズムの未然防止抑制に向けた対策パッケージ」にもとづきながら、観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続観光な観光地域づくりを促進するため、地域の実情に応じた取組を引き続きしっかりと支援してまいります。

また、観光産業については「持続可能なあり

方」で稼ぐ力をいかに高めていくかが重要であり、成長に必要な投資や働き手の処遇向上を進め、次世代に向けて観光産業全体を発展的な形で成長させていくことが必要です。宿泊施設、観光施設の改修を支援するとともに、観光DXの推進にも取り組む、地域内の宿泊施設などにおける予約在庫等のデータ共有や利活用を図る取組などへの支援を行い、地域単位での業務効率化等を推進してまいります。

更に、外国人材の活用も含めた人材の採用活動支援や、業務の効率化や省力化に資する設備投資の支援等、総合的な人手不足対策を実施し、人手不足の解消に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

これらの取組を通じて、観光産業の収益力を強化し、従業員の待遇改善等を図る好循環を生み出すこと等を通じて、観光産業の高付加価値化を推進してまいります。

第3に、国内交流拡大です。地域の観光資源を一層魅力的なものに徹底的に磨き上げるとともに、テレワークを活用したワーケーションの推進や、反復継続した来訪の促進、ユニバーサルツーリズムといった国内における新たな交流市場の開拓に、従来取組を更に進化させて取り組んでまいります。

観光庁といたしましては、本年を更なる高みを目指すための1年と考え、基本計画の目標・さらにはその先の2030年訪日外国人旅行者数6,000万人、消費額15兆円を目指して、関係省庁一丸となつて取組を進めてまいります。観光関係の皆様、国民の皆様におかれましては、今後とも観光政策に「層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます
本年も会員の皆様と共に旅行業界発展のため 頑張ってまいります

三 役

会長
二 階 俊 博

副会長
近 藤 幸 二

副会長
駒 井 輝 男

副会長
北 敏 一

専務理事
菅 井 雅 昭

北海道地方

常任理事
北海道支部長
佐 藤 達 雄

東北地方

青森県支部長
片 野 治

岩手県支部長
鎌 田 政 典

常任理事
宮城県支部長
大 久 光 昭

秋田県支部長
佐 藤 明 正

山形県支部長
鳥 村 成 実

福島県支部長
菊 地 洋

関東地方

常任理事
茨城県支部長
長 山 克 己

理事
栃木県支部長
荒 井 賢 治

群馬県支部長
小 林 聡

埼玉県支部長
小 川 将 人

千葉県支部長
梶 陽 介

京浜地方

常任理事
東京都支部長
村 山 吉 三 郎

理事
神奈川県支部長
田 中 幸 一

理事
山梨県支部長
有 川 英 樹

北信越地方

新潟県支部長
佐 藤 幸 一

長野県支部長
上 原 道 徳

富山県支部長
桶 屋 諭 喜

石川県支部長
越 原 裕 一

常任理事
福井県支部長
野 地 敏 行

東海地方

岐阜県支部長
神 谷 利 夫

静岡県支部長
遠 藤 勝 久

常任理事
愛知県支部長
大 野 静 雄

三重県支部長
渡 部 俊 郎

近畿地方

滋賀県支部長
北 川 宏

理事
京都府支部長
北 澤 孝 之

常任理事
大阪府支部長
吉 村 実

兵庫県支部長
菱 田 良 平

奈良県支部長
中 島 昭 人

和歌山県支部長
古 市 啓 悟

中国地方

鳥取県支部長
中 島 文 明

島根県支部長
小 河 英 樹

岡山県支部長
田 中 雅 彦

常任理事
広島県支部長
花 岡 正 雄

山口県支部長
瀬 川 和 久

四国地方

徳島県支部長
谷 正 彦

常任理事
香川県支部長
西 岡 宏 之

愛媛県支部長
池 田 央

高知県支部長
笹 岡 希 吉

九州地方

福岡県支部長
眞 武 祐 一

佐賀県支部長
浦 中 憲 一 郎

長崎県支部長
前 田 寛 信

常任理事
熊本県支部長
松 嶋 洋

大分県支部長
高 寄 和 弘

宮崎県支部長
後 口 昌 賢

鹿児島県支部長
八 木 申 一 郎

沖縄県支部長
松 田 文 隆

監 事
吉 田 正 博

監 事
高 橋 幸 司

監 事
酒 井 和 夫

《令和7年1月28日 火 開催》

第19回 国内観光活性化フォーラム in 東京

— ようこそ、まだ見ぬ東京へ。—

日本の中心”や“最先端”といった表層的な魅力だけではなく
“新たな”や“再発見”など、これまで気づいていなかった
それぞれの東京を探したり見つけたりすることができる。
そんなフォーラムを目指して。

当協会では毎年度、47都道府県の支部組織の緊密な連携
とANTA会員の結束強化を図るとともに、地域に密着して旅行
ビジネスを展開する会員会社の特長と約5400社の会員ネット
ワークを活かし、自治体・観光関連団体・企業と協働のもと、開
催地の観光振興に貢献することを目的に、国内観光活性化
フォーラムを主要行事として実施してまいりました。

今回のフォーラムは、本年1月28日(火)に東京有明の東京
ガーデンシアターで行われ、東京では初開催となります。ステー
ジプログラムとしては、観光庁の基調講演や各種表彰式をはじめ、
有名アーティストによる記念公演、世界トップレベルのブレ

イキンダンス・パフォーマンスなど、多彩なイベントが盛りだく
さんとなっています。また、各自治体・観光団体・関連企業等
による約100ブースの出展が予定されており、デジタルスタン
プラリーも実施します。

会員会社並びに観光産業関係者が東京で一堂に会し、
「ようこそ、まだ見ぬ東京へ」の開催テーマのもと、東京の魅力
を余すところなく発信するとともに、未知の東京、そして、未来
を予感させるような、新しい東京観光を体感できる機会となるこ
とを目指してまいります。



東京ガーデンシアター（大会会場）



東京ガーデンシアター・ホール



村山 吉三郎

地元実行委員長
ANTA 常任理事
京浜地方支部長連絡会議長
東京都支部長

新年あけまして、おめでとうございます。いよいよ
フォーラム本番間近、カウントダウンとなりました。地元
実行委員会の東京都支部では、ANTA会員並びにご来
賓の皆様を最高の歓迎をもって、おもてなしをするため、
日夜議論を重ね創意工夫を凝らし、全力を挙げて最後の
追い込みに入っております。

申し上げるまでもなく、東京は、我が国の首都であり、政
治経済・科学技術・文化芸術など、あらゆる分野の最先端
が結集する世界屈指の巨大都市です。しかしながら一方

で、歴史的な建造物や、江戸の風情の面影を残した街並み、山間部の奥多摩や島しょ部の伊豆七島・小笠原に代表さ
れる豊かな自然を有する一面も兼ね揃えております。東京で生まれ育った都民でさえ行ったことのない景勝地、まだまだ
知られていない素敵な場所、見過ごされている穴場、新たに誕生したサービスなど、「まだ見ぬ東京」が数多存在します。
本フォーラムにおいて、東京の奥深いポテンシャルを感じ、新しい魅力を再発見していただけますと、幸甚の極みです。

また、本フォーラムが東京のみならず、地域活性化の推進をはじめ、国内旅行・インバウンドのさらなる躍進、アウト
バウンドの早期復調など、首都での開催だからこそ、日本全国ひいては世界各地に発信できる重要な場となること
を切に期待しております。

地元実行委員会一同、皆様の東京へのお越しを心よりお待ちしております。

第19回
国内観光活性化フォーラム in 東京

ようこそ
まだ見ぬ
東京へ

主催：  一般社団法人 全国旅行業協会
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION 共催：  株式会社 全旅
ZENRYO

後援：国土交通省、観光庁、東京都、公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、
一般社団法人日本旅館協会、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会

2025年1月28日(火)
東京ガーデンシアター

訪日外国人旅行者には 専用の補償制度に加入しましょう! 全旅協 インバウンド旅行補償制度

引受保険会社: 損害保険ジャパン株式会社

保険手配が
お客さま任せに
なっていませんか?

- 訪日旅行者全体の**26%**は旅行保険に**未加入**です。(観光庁調べ)
- 本国で加入した旅行保険が日本で役立つためには**条件**があります。
(①病院紹介が可能、②キャッシュレス治療が可能、③病気も対象 等々)
- ご加入の保険内容を**事前**に会員が**確認**することは**困難**なので、**本制度**をご利用ください。

この制度のメリット

- ① キャッシュレス治療(上限1,000万円)が可能な高額補償。
- ② 医師の指示によるホテル療養の宿泊費も対象。
- ③ 帰国時の航空券再手配代も補償されます。 **NEW!**
- ④ 万一の際は保険会社のコールセンターが直接対応するので、会員のご負担が減ります。
⇒英中韓の3か国語で応答、キャッシュレス治療が可能な病院を手配、医療通訳も手配。
- ⑤ 安心を武器に貴会員商品の付加価値を高めてください。

掛金例 (F手配旅行タイプ)			
1日間	940円	5日間	2,280円
2日間	1,250円	7日間	2,940円
3日間	1,580円	10日間	3,910円

訪日外国人旅行者には旅行災害補償制度ではなく、
本制度をご利用ください。

⇒入通院の治療費の補償としては極めて不十分なうえ、
病院紹介もできません。



この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
(または詳しい内容についてはパンフレットをご参照ください。)

【全旅保険】株式会社 旅行ビジネスサポート TEL 03-6272-9704
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階(受付時間:平日の午前9時から午後5時30分まで) FAX 03-6272-9714

[引受保険会社: 作成部店] 損害保険ジャパン株式会社 企業営業第八部第四課
〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10

TEL 03-3231-2201 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで) FAX 03-3231-7835 SJ24-06220 2024.10.21



第212回理事会 (令和6年11月14日)

《本部会議

理事会

第212回理事会
日時: 令和6年11月14日(木)
会場: ANTA本部会議室
出席者数: 21名
議事
(1) 規程の一部改正(案)
議事結果
原案どおり、承認された。

《実施報告

常任理事会

第57回常任理事会
日時: 令和6年11月13日(水)
会場: ANTA本部会議室
出席者数: 16名
議事
(1) 規程の一部改正(案)
(2) 新規入会申込者(案)
議事結果
原案どおり、了承された。



駒井副会長による開会挨拶
(第212回理事会)



近藤副会長による開会挨拶
(第57回理事会)



第57回常任理事会 (令和6年11月13日)

令和6年度 ANTA・JATA 主催 苦情対応勉強会を実施

山口会場

当協会が主催する苦情対応勉強会が令和6年12月10日（火）に山口グランドホテル（山口市）で開催された。当日は25名（会場11名、オンライン14名）が参加し、中国地方連



花岡議長



三好講師

絡会の花岡正雄議長による挨拶の後、第一部は三好和夫研修講師により「苦情対応の基本と事例について」と題し、苦情対応の基本や書面交付の重要性などについて、実際に起こった苦情相談事例を基に説明がなされた。第二部は山本厚弁護士により「そうだったのか！旅



山本弁護士



瀬川支部長

令和6年秋の叙勲 駒井副会長が旭日双光章を受章

令和6年秋の叙勲で、当協会副会長の駒井輝男氏（有）東日本ツーリスト代表

取締役（有）が旭日双光章を受章した。



旭日双光章を受賞した駒井副会長は、昨年11月14日（木）に東京プリンスホテルにて行われた。

令和6年度 ANTA・JATA 共催 苦情対応セミナーを実施

大阪・広島会場

当協会とJATAとの共催による苦情対応セミナーが令和6年11月28日（木）に大阪府のたかつガーデン、12月5日（木）に広島県の広島県立総合体育館で、それぞれ開催された。



吉村議長（大阪会場）



中村弁護士（大阪会場）



近藤副会長（広島会場）



三浦弁護士（広島会場）

一部は中村嘉男弁護士による「苦情の報告2024」の事例解説、第二部はANTA、JATA委員により、苦情事例が寸劇で紹介された。その後、近畿地方連絡会の吉村実議長による閉会挨拶がなされた。

広島会場はANTA会員12名（総勢29名）が参加し、開会

に先立ち近藤幸二副会長による開会挨拶の後、三浦雅生弁護士により、第一部「標準旅行業約款の解説」、第二部「苦情の報告2024掲載事例の解説」が行われた。

「苦情対応セミナー今後の予定」
○令和7年1月17日（金）
全日通霞が関ビル（東京）
○令和7年1月27日（月）から
2月28日（金）オンデマンド配信（予定）

2025大阪・関西万博の開催に向けた意見交換会を実施

経済産業省・博覧会協会・観光庁との連携の強化を誓う

当協会は、令和6年10月18日（月）に経済産業省、日本国際博覧会協会、観光庁との間で、2025大阪・関西万博の開催に向けた意見交換会を実施した。

意見交換会には、二階会長が出席のもと、経済産業省の飯田事務次官、観光庁の祓川長官、

日本国際博覧会協会の高科副事務総長等が隣席し、万博への旅行者の送客について意見交換を行った。

飯田事務次官から「万博を盛り上げるためには、旅行者の協力が不可欠。4月の開幕を控え、ANTA会員の皆様には、万博の機運醸成と旅行者の送客に、より一層のご協力をいただきたい」と要請があり、二階会長は「万博は国を挙げての一大行事。当協会としても、関係団体との連携を強化し、必ずや成功に導きたい」と意気込みを語った。



二階会長、飯田事務次官、祓川長官などが出席

また、11月10日及び16日には、ANTA・JATA会員を対象に万博会場の視察・説明会が開催され、万博開催時の旅行者の動線など、旅行者の実務的な対応等の説明がなされた。

令和6年度 旅行業務取扱管理者 定期研修の開催

当協会主催による旅行業務取扱管理者定期研修が令和6年11月15日（金）に東京都で開催され69名が修了した。また、オンライン研修が10月25日～11月10日の期間で配信なされ、493名が修了した。

定期研修は、旅行者にとって選任された旅行業務取扱管理者について、その職務に關し必要な知識及び能力の向上を図るため、5年ごとに受講することが旅行業法によって義務付けられており、ANTA及びJATAの両旅行業協会

で実施されている。

なお、令和7年2月に東京都及び大阪市での集合研修を、2月～3月にオンライン研修をそれぞれ開催する。

申込方法については、当協会ホームページを参照のこと。

令和6年度 国内旅程管理研修を全国4会場で実施

当協会主催による、令和6年度国内旅程管理研修が12月3日（火）・4日（水）に、仙台市・東京都・大阪市・広島市の4会場で開催された。

本研修では、旅行業法・旅行業約款・国内旅程管理業務の各科目の講義後、修了テストが行われた。

受講申込者数は、81名（会員76名、会員外5名）となり、修了テスト受験者数は76名であった。



国内旅程管理研修（仙台市会場）

令和6年度 定期研修（令和6年10月・11月）実施結果一覧

開催地	開催日	会場	申込者数	修了者数
東京都②	11月15日（金）	自動車会館	70名	69名
オンライン②	10月25日（金） 11月10日（日）	オンデマンド配信	495名	493名
合 計（集合1会場・オンライン1回）			565名	562名

令和6年度 定期研修（令和7年2月・3月）開催予定一覧

開催地	開催日	会場	定 員
大阪市②	2月5日（水）	エル・おおさか	100名
東京都③	2月27日（木）	立教大学	170名
オンライン③	2月25日（火） 3月10日（月）	オンデマンド配信 ※修了証書に印字される修了日は、一律で令和7年3月20日（予定）となります。	600名

あれから13年、福島の「今」 〜東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業とALPS処理水〜

東日本大震災が起こった2011年から、今年で13年が経過しました。特に、原子力発電所での未曾有の事故によって大きな影響を受けた福島県では、復興に向けた様々な取組が進められており、交通・社会インフラや新たな産業拠点の整備、農林水産業などのなりわい再建も進み、住民の皆様の生活も再開するなど、着実な復旧・復興の歩みが見られます。



東京電力福島第一原子力発電所構内の作業員

東京電力福島第一原子力発電所の現状

現在、東京電力福島第一原子力発電所では、継続的な注水により原子炉を冷却することで、安定した状態を維持しており、長期に及ぶ廃炉作業が多くの作業員の手で進められています。放射線の影響で人が近づけない場所でも作業ができるよう、ロボットによる遠隔操作など、新しい技術の開発や活用も進んでいます。また、廃炉作業と併せて構内の除染が進み、構内の放射線量は大幅に低下し、今では、ほとんどの敷地内で通常の作業服での活動が可能となるなど、大幅に環境が改善しています。

東京電力福島第一原子力発電

ALPS処理水の海洋放出

所の廃炉は世界にも前例がない取り組みです。国や東京電力だけでなく、国内外の観智を結集させるため、様々な大学、研究開発機関や海外企業などが共同で取り組みを進めています。また、廃炉で培った技術力等をもとに、地域が活性化し、福島島の復興と廃炉が両輪として進んでいくことを目指して、地元企業など地域の皆様にも協力いただきながら廃炉を進めています。

東京電力福島第一原子力発電



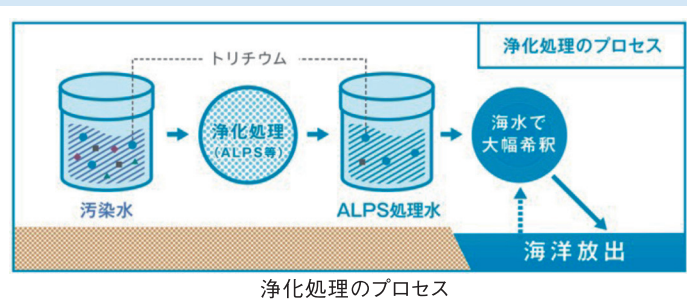
※単位はマイクロシーベルト/時
出典：ふくしま復興のあゆみ（第30.2版）

福島県の空間線量

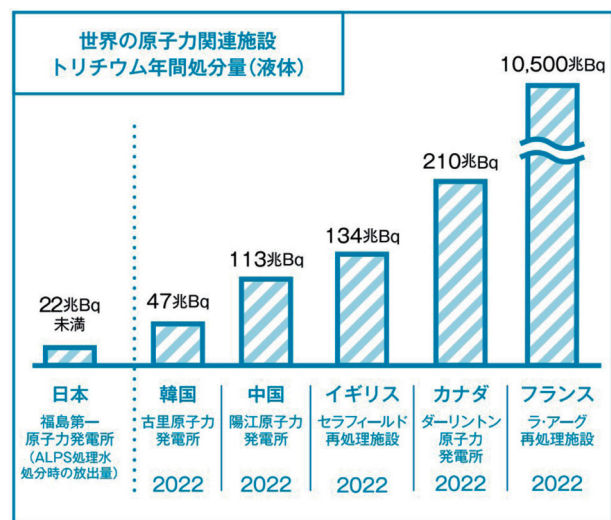
処理し、敷地内でタンクに貯蔵してきました。

このタンクが1000基を超え、敷地内のかかなり広い面積を占有する状態となり、これからの廃炉作業に影響が出てしまうことから、政府は2021年4月、安全性を確保し、政府をあげて風評対策を徹底して行うことを前提に、「2年程度後を目途にALPS処理水を海洋放出する」という基本方針を決定し、2023年8月に海洋放出を開始しました。

ALPS処理水とは、浄化装置によりトリチウム（三重水素）以外の放射性物質を除去し、海洋に放出する際の規制基準を満たし



浄化処理のプロセス



世界の原子力関連施設トリチウム年間処分量（液体）



福島県産農林水産品と検査状況

ただ、過去に発生した浄化装置の不具合や、汚染水が周辺地域に与える影響を急ぎ低減させるため

福島県産品の安全性

福島県内で生産・流通する農林水産品や加工食品について、食品衛生法による基準値が設定されている放射性セシウムの検査が行われております。日本の基準値は、食品の安全基準を定めている国際的な組織が、これ以上の措置をとる必要がないとしている指標に基づく厳しい水準により設定されています。現在、福島県を含む地方自治体では、生産、採取、漁獲される段階で基準値を超える食品はほとんどなく、もし検査で基準値を超える食品が確認された場合は、流通しないよう出荷管理が徹底されています。

これまで復興に取り組んできた方々の努力を無にすることがないよう、政府は前面に立って全力で風評影響の払拭に取り組んでいきます。

でかけよう日本！ 新しい旅のスタイルで



—— ANTAは安全・安心な旅行を提供し全国各地の元気を取り戻します ——

観光振興応援
キャンペーン実施中



全国47都道府県5400の旅行会社が加盟しています
一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

後援



観光庁
Japan Tourism Agency



海外旅行には 2つの補償制度をご利用ください。



企画旅行の特別補償に備えて会員を守ります。

全旅協 海外企画旅行補償制度

- 1 特別補償(死亡2,500万円/人)に備えて会員の事業を守ります。
- 2 重大事故時には安全サポート社が会員を支援いたします。

掛金例

3日間	494円
5日間	775円
7日間	969円
10日間	1,129円

引受保険会社: 引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社



お客さまを病気・ケガ・トラブルから守ります。

全旅協 サービス海外旅行補償制度

- 1 ネット加入保険並みの安価な掛金で大きな補償(治療費用&救済者費用が無制限、携行品50万円)。
- 2 お客様の年齢制限なし、旅行者の告知不要・署名押印など書類作成が一切不要。
- 3 加入はエントリーシステムで楽々入力、その場で損保ジャパン社の英文加入証を発行。
- 4 掛金は旅行代金(企画料・旅行取扱料金等)に含めて取り扱います。

★保険代理店を兼業している会員もぜひご検討ください(販売ノルマなし)。

引受保険会社: 損害保険ジャパン株式会社



掛金例(SK5タイプ)

アジア4日間	3,200円
ハワイ6日間	3,860円
欧州10日間	4,860円

旅行契約に応じた ご利用方法

◎: 加入必須 ○: 加入は任意

補償制度名	旅行契約の種類			
	募集型 企画旅行	受注型 企画旅行	手配旅行	他社旅行商品の 受託販売
海外企画旅行	◎	◎	加入不可	加入不可
サービス海外旅行	○	○	○	○

この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
(または詳しい内容についてはパンフレットをご参照ください。)

【全旅保険】株式会社 旅行ビジネスサポート TEL 03-6272-9704

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階(受付時間: 平日の午前9時から午後5時30分まで) FAX 03-6272-9714

[引受保険会社: 作成部店] 損害保険ジャパン株式会社 企業営業第八部第四課

〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10

TEL 03-3231-2201 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで) FAX 03-3231-7835

SJ24-06220 2024.10.21

山形県支部

救命講習・非常時訓練を実施

山形県支部（二社）山形県旅行業協会では、令和6年9月4日に「救命講習」と「バス非常時訓練」を実施しました。広報渉外担当委員会の今年度事業の環として、山形市消防本部および（社）山形県バス協会の

指導のもと、お客様に対して「質の高い旅行サービス」の提供が出来るよう、「いざ」という時に対応するための知識と技能の習得を目指した取り組みとなります。当日は晴天に恵まれ、会員30名が参加して実際の



山形市消防本部による講義

場面を想定した対応法を確認しました。第一部は、山形市消防本部の普通救命講習Ⅰを受講しました。初めに「応急手当の重要性」という表題で応急手当の基礎知識を学びました。心停止の認識から心肺蘇生やAEDを使用した電気ショックといった一時救命処置の重



バスからの脱出訓練

要性、そして、これを遅滞なく実施することの必要性を強く認識しました。応急手当の出番などない方が望ましいものの、知識が有ると無いのでは対応に大きな差が出てくるので、しっかりと身につけようと改めて感じた次第です。

知識習得の次は実技に移り、



AEDの実演

約10名で班を組み、「胸骨圧迫による心肺蘇生」や「AEDを使用して電気ショックを与える手順」を体験しました。胸骨圧迫は姿勢や手の位置、圧迫するスピードが初心者には難しく感じられましたが、コツは何となく理解できました。AEDも手順を理解していないといざという時に使用できないので、貴重な経験となりました。終了後、受講者には「修了証」が交付され救命技能が認定されました。

第二部の「バス非常時訓練」では、大型貸切バスを使用して非常時の対応を学びました。山形市消防本部敷地内で開催したことから、消防署救急隊員にも訓練に参加いただき、バス事故における救助活動に役立つことと興味を持って取り組みいただきました。訓練では、山形県バス



講習・訓練の様子が山形新聞に掲載

東京都支部

種子島・屋久島研修 実施報告

東京都支部（二社）東京都旅行業協会では、令和6年9月19日から2泊3日にて、鹿児島県種子島・屋久島へ研修旅行を実施しました。首都圏からのアクセスが難しい場所ではありますが、旅行目的の地として魅力度が高い場所

あり、30名が参加しました。台風の影響により初日の船が運航されるか不安感を抱きつつ、研修当日を迎えました。

1日目は、早朝に羽田空港に集合し、一路鹿児島空港へと出発しました。鹿児島空港に到着したら、さすが南の地、蒸し暑さを感じました。貸切バスにて最初の見学場所である石橋記念公園を訪れました。石橋記念公園の館長より石橋記念公園の歴史や概要を説明して頂き、集合写真撮影。その後、1時間ほど園内を各自で自由見学しました。平成5年8月の豪雨で残った3つの石橋を貴重な文化遺産として後世に残すことを目的に開園され、天気の良い日は桜島も臨め、日本の石橋群の歴史を学ぶ意味でも貴重な公園で、お客様にお立ち寄りいただきたいスポットです。

石橋記念公園を後にし、バスに乗りし5分ほどで鹿児島港へ到着しました。心配していた種子島行きの船も条件付きであるものの出航することが決まりほっとしました。昼食は、お弁当を乗船前に船乗り場でピックアップして種子島へ向かう船内で食べることを予定していました。船内は揺れるため乗船前の待合室で昼食を済ませるようになりました。お弁当は品

数も多く、とても美味しく参加者から好評でした。昼食を済ませ、高速船トッピー号で約90分の船旅で種子島西之表港へ到着。港から貸切バスに乗り換え、鉄砲館へ。こちらではガイドの方より鉄砲伝来の話や歴史、製法から機能まで詳しく説明していただき大変勉強になりました。

続いては、日本一の大ソテツが有名な坂井神社を見学し、その後には千座の岩屋へ。名前の由来は千人も座れるほどの広い洞窟という意味で、残念ながら干潮時間ではなかったため遠目に見学をしました。しかし、干潮時であれば洞窟に入り、洞窟内からきれいな砂浜と海を眺めることが出来る絶景スポットです。干潮時に合わせてコースを組むことをお勧めします。

千座の岩屋を後にして、ロケットの丘展望所へ移動。この展望所は、種子島宇宙センター内にある大型ロケットの格納庫と射点が一望出来る展望所、景色も素晴らしい、こちらも外せないスポットです。

初日の観光を終えて、宿泊先の種子島いわさきホテルへ。ホテルはピンク色の建物で海沿いに面し非常に特徴的です。全室オーシャンビューの眺望は圧巻で、サーフスポットもあり人気のリゾートホテルです。

2日目は、最初にホテルから5分程の種子島宇宙センターへ。到着後、実物大ロケットをバックに集合写真を撮影し、センター内の宇宙科学技術館を各自、自由見学。館内には宇宙食などが購入できるミ

ユーザムショップもあり、皆様、宇宙食を購入していました。宇宙科学技術館を後にして、屋久島へ移動するため種子島西之表港へ。屋久島まで約1時間のこの研修で2回目の船旅です。屋久島の安房港に到着し、屋久島では山道が多いという道路事情もあり大型バスより中型、小型バスの方が活躍することもあり、中型と小型バスに分かれ移動を開始。港近くの綺麗な「定食ばすた かたぎりさん」で郷土料理「飛び魚ひつまぶし」を堪能しました。

そして、世界自然遺産の屋久島の森「ヤクスギランド」へ向かいました。自分の体力（気力）に合わせて、80分50分30分のコースを選択し、トレッキングをスタート。短時間ではありましたが、杉や苔むした木々などを見ながら屋久島の森を堪能しました。本日の宿泊先は、屋久島いわさきホテルです。疲れた体を温泉で癒し、食材にもこだわりの感じられる夕食をいただき、研修最後の夜は更けていきました。

最終日は、屋久島の南から左回りに海沿いを半周するコースです。ガイドの方より屋久島の魅力を余すことなく説明いただきながら、千尋の滝、中間ガジミル、大川の滝と見学し、西部林道では期待通り野生の猿やシカに遭遇し、自然を満喫いたしました。13



屋久島を視察

第79回
COLUMN

添乗からのメッセージ



庄司 正昭
(しょうじ まさあき)

国士舘大学 21世紀アジア学部教員。旅行業者・添乗員派遣会社等に勤務。通常の募集型企画旅行の他、映画「男はつらいよ」オーストリア映画撮影ツアー、東京都庁職員国連本部視察旅行、葛飾区議員のウィーン市長表敬訪問旅行、大型宗教ツアーなど数多くの受注型企画旅行に添乗。添乗回数は海外国内を合わせ450回、訪問した国は50か国を超える。

好調、国内旅行・深堀り、
福井の添乗

2024年11月下旬、大手生命保険の明治安田生命の調査結果が公表されました。

20代～70代の1600人のアンケートで「結婚して1年以内に新婚旅行に行った人の7割が国内旅行だった」という衝撃的(?)な内容で、NHKのニュースでも放送されました。円安の影響で海外旅行のハードルはまだ高いようです。

戦後の新婚旅行のブームでは、目的地が「熱海 → 南紀白浜 → 宮崎 → ハワイ → 海外各国」と移っていったともいわれますが、再び国内に戻ってきたというのも時代を感じさせます。

そんな好調な国内旅行の中でも福井の旅行は着実に集客を伸ばしてきました。新幹線延線、NHK大河ドラマ「光る君へ」の影響は大きく、福井の中部～西部を深堀りするベテランリピーター用のツアーも発表されています。

今回は、福井中部(敦賀)から西部(主に旧国名・若狭のエリア)の観光地と添乗のポイントを確認します。

今回のコース

<初 日> 東京羽田空港 → 小松空港 → 気比の松原 → 気比神社(小浜泊)

<2日目> 小浜線 乗車 → 明通寺 → 瓜割りの滝 → 熊川宿 → (長浜泊)

<3日目> 三方五湖レインボーライン山頂公園 → 福井県年縞博物館 → 若狭国吉城 → 敦賀ムゼウム → 小松空港
→ 東京羽田空港

初 日

①羽田空港荷物チェックインについて

添乗員がお客様に搭乗券を渡し各自で荷物を流して頂きますが、JLの場合、一度チェックイン機でクレームタグを出して荷物にタグを自分で付けてから、荷物専用の機械に載せて流します。

「荷物を流す前にチェックイン機にて各自でタグを付ける」ことをお客様に前もって伝えておくとういでしょう。



羽田空港JLチェックイン機

②気比の松原

敦賀湾最奥部に広がる白砂青松の景勝地で、日本三大松原のひとつに数えられます。松原の目の前が駐車場のため、案内するまでもなく各自で散策が可能です。



気比の松原

③気比神社

地元では親しみをこめて「けいさん」と呼ばれるこの神社は、7柱の祭神を祀る北陸道の総鎮守です。高さ約11mの大鳥居は春日大社(奈良)、厳島神社(広島)と並び日本三大木造鳥居のひとつとされます。



気比神社

到着前にバスの中で、神宮内の地図をお客様に配り説明して自由参拝になります。

大型バス駐車場すぐ近くの「車御祓所」から入り、外拝殿に進むのが最短のコースです。

2 日 目

①JR小浜線

若狭湾に沿って走る風光明媚な路線ですが、自由席なので注意が必要です。

また、2両編成、ワンマンの場合、1両目のドアしか開かないので、お客様には1両目について頂くようご案内します。



小浜線

②明通寺(みょうつうじ)

古代から都との往来が盛んで、「京都の冷蔵庫」とも呼ばれた小浜市は、「京料理」文化を形成する上で重要なエリアでした。

この小浜に佇むのが福井唯一の国宝建造物(本堂と三重塔)を持つ明通寺です。

寺に通じる階段等が急なため、移動に時間がかかります。(駐車場から本殿までゆっくり登って7分位)



明通寺

全旅協 学校旅行総合補償制度

全旅協旅行災害補償制度 に 学校旅行総合保険 の補償をプラス！

旅行参加者・学校・旅行会社 を 同時に守る補償制度です

主な特長・メリット

- 1 学校は別途の保険手配(学校旅行総合保険)が不要となり、手間が省けます
- 2 会員は必要な補償が完備した旅行をワンストップで提供可能となります
- 3 病気やけがにより治療を受けて旅行を離脱し、自宅に戻るための諸費用を補償します
- 4 熱中症による死亡・入院・通院も補償します

企画旅行L1000タイプの場合

補償内容の例

- 特別補償 死亡後遺 1500万円 ほか
- 傷害補償 死亡・後遺障害 1000万円 ほか 手術・入院・通院 熱中症を新たにカバー
- 個人賠償 5000万円 救援者費用 100万円
- 学校緊急対応費用 30万円 学校賠償 対人対物 5000万円 など
- 重大事故対応特約つき 連絡専用デスクで専門家が会員をサポート

1人当たりの掛金例

旅行日程	掛 金
日帰りB	383円
1泊2日	398円
2泊3日	420円
3泊4日	433円
4泊5日	470円

申込方法

◆契約エントリーシステムで24時間加入可能 **FAX不可** ◆お客様控えもプリンターで発行できます ◆掛金は翌月一括請求 **前払不要**

旅行災害補償制度にはない補償が満載！

- ・熱中症がケガと同様に補償されます 死亡後遺・入院・通院
- ・特別補償以外にも後遺障害を補償
- ・病気やけがで離脱し自宅に戻る費用 救援者費用
- ・学校が現地で支出する交通費等 学校緊急対応費用
- ・参加者を守る個人賠償 5000万円が標準装備
- ・レンタル品の弁償にも適用される学校賠償

市販の学校総合保険よりも優れる点があります

- ・学校による保険契約手続き(押印・振込・名簿提出)が不要
- ・ケガによる通院を補償します
- ・ケガによる入院は日額補償です
- ・救援者費用が100万円以上の大型補償です
- ・本人の宿泊費1泊2万円まで補償します

この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。

国内旅行専用

全旅協 学校旅行総合補償制度

損害保険 + 全旅協 見舞金制度



- この制度1つで「会員」「生徒」「学校」を幅広く補償します。
- ANTA会員専用 重大事故支援制度がセットされています。
- 全旅協保険契約エントリーシステムで申込できます。掛金は翌月払いです。

※この制度は、「損害保険」に「全旅協 見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。
※このパンフレットは概要を説明したものです。詳細につきましては、ご契約者である団体の代表者の方にお渡ししております約款等に記載しています。
※必要に応じて、団体までご質問いただくか、損保ジャパン公式サイト(https://www.sompo-japan.co.jp/)でご参照ください。お問い合わせ先は、公営ウェブサイトに掲載、ご契約のしおりを掲載していない場面もあります。ご不明点等がある場合には、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

全国旅行業協会
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

引受保険会社：引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

【全旅保険】株式会社 旅行ビジネスサポート

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSDビル3階(受付時間:平日の午前9時から午後5時30分まで)

TEL 03-6272-9704
FAX 03-6272-9714

[引受保険会社：作成部店] 損害保険ジャパン株式会社 企業営業第八部第四課 〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10(受付時間：平日の午前9時から午後5時まで) TEL 03-3231-2201 FAX 03-3231-7835

全旅協の3つのキャンセル補償制度



お客様都合による旅行取消の際に、お客様が旅行会社に支払う取消料を保険がカバーします。旅行参加者全員がキャンセルされる場合にも対応できます。

1 国内旅行

キャンセル補償制度 70% 補償



2 学校国内旅行

キャンセル補償制度 100% 補償



3 海外旅行

キャンセル補償制度 70% 補償



特長・メリット

病気やケガによる本人や親族の死亡、所定の期間内の入院・通院が対象です。そのほか右記の例にある自己都合による旅行取消に対応。

◆キャンセル料へのお客様のご不安を和らげ、旅行商品の安心付加価値をアップ!

支払われる保険金

◆保険の対象となる取消料は?

旅行契約に基づいてお客様が会員に支払う 取消料 です。

※企画旅行において会員と利用施設等との間で精算される金額を補償するものではありません。

◆保険金の計算方法

- ①国内旅行キャンセル ③海外旅行キャンセル 保険金の額 = 上記の取消料 × 70% が旅行者に支払われます。
②学校国内旅行キャンセル 保険金の額 = 上記の取消料 × 100% が旅行者に支払われます。

●1人当たりの掛金例

	①国内旅行キャンセル	②学校国内旅行キャンセル	③海外旅行キャンセル
旅行代金10,000円以下	130円	180円	180円
10,001円～20,000円	230円	320円	330円
20,001円～30,000円	330円	460円	480円
30,001円～40,000円	430円	610円	630円
40,001円～50,000円	530円	750円	780円

申込方法

- 契約エントリーシステムで24時間加入可能 > FAX不可
- お客様控えもプリンターで発行できます
- 旅行開始日の14日前までにお申し込みください
- 掛金は翌月一括請求 > 前払不要

例

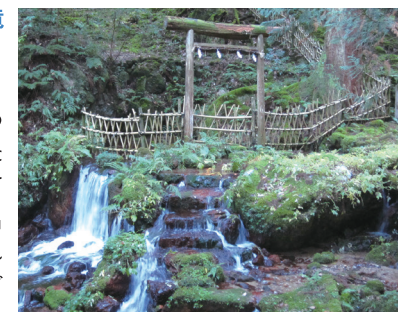
急な出張、交通機関の欠航運休、イベントの中止・延期、ペットの死亡、災害避難指示ほか

前頁より

③瓜割(うりわり)の滝

日本の「名水百選」に認定されたもので、1年を通して水温が変わらず、あまりの水の冷たさに瓜が自然に割れてしまったという故事が名前の由来です。木漏れ日と苔のコントラストが幻想的です。

駐車場から5分程登りますが、ここも道が良くないので注意が必要です。小さいトイレあり。



瓜割の滝

④若狭鯖街道(わかさ さば かいどう)・熊川宿

浅野長政(豊臣秀吉の家来)が熊川を交通、軍事の拠点として宿場町にしたことから栄え、江戸時代には米、魚、塩などの物資が流通していました。

近年「鯖街道」と呼ばれる若狭と都を結ぶ街道群は、海産物ばかりでなく街道沿いに神社、街並み等の往来文化遺産群を形成したことから、2015年に熊川宿を含む鯖街道が「御食国(みけつくに)若狭と鯖街道」として日本遺産プレミアムに選定されました。

街道入口の「鯖街道ミュージアム」からボランティア・ガイドさんの案内で1時間程歩きます。

トイレが問題になりますが、ガイドさんがトイレの案内もしてくれます。



熊川宿



鯖街道ミュージアム

3日目

①三方五湖レインボーライン山頂公園

福井県美浜町と若狭町にまたがる「三方五湖」は、三方湖、水月湖、菅湖(すがこ)、日向湖、久々子湖(くぐしこ)からなる湖の総称で、若狭湾国定公園を代表する景勝地です。

5つの湖は、すべて異なる水深と塩分濃度(淡水、海水、汽水)で、2005年にはラムサール条約(主に水鳥と湿地に関する条約)にも登録されました。

お客様へは山頂公園の地図を到着前にバス内で配り説明します。

山頂公園へはリフト、あるいはケーブルカーで登りますが、強風の時はリフト運行が中止になることもあります。



三方五湖レインボー山頂公園

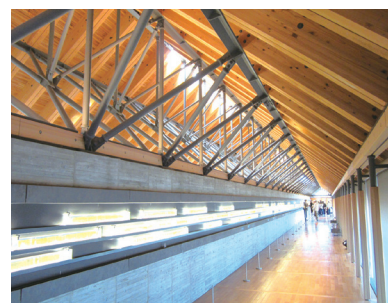
②福井県年縞(ねんこう)博物館

三方五湖山頂公園のすぐ近くにあるこの博物館は、水月湖で発掘された7万年の年縞に関する世界でも珍しい博物館です。

年縞とは1年に1枚ずつ規則正しく積み重なったシマシマ模様の地層のことで、2011年には「年代測定の世界基準のものさし」として認定されました。

湖の風景に調和したユニークな美しい建物で、内藤廣建築設計事務所が手掛け建築の賞を受賞しています。

お客様には入場時に地図を配り、自由に30分程度鑑賞していただきます。



年縞博物館の内部

③若狭国吉城歴史資料館

織田信長が越前 朝倉氏攻めの際、本陣を置いたのが国吉城です。

山城である国吉城や城下町を紹介するこの資料館に行くには、資料館のスタッフの方に近くのバス駐車場まで迎えに来ていただき、城下町の案内を聞きながら歴史博物館へ誘導していただきます。

国吉城歴史資料館からの帰り道は迷いやすいので(約10分 遊歩道 階段あり)、添乗員がポイントに立って駐車場への道を案内すると良いでしょう。



国吉城

④敦賀ムゼウム(ムゼウムとはポーランド語で資料館の意味)

敦賀港は1920年代にシベリアから救出されたポーランド孤児が上陸した港です。

また、1940年代には、ナチス・ドイツから逃れる目的で、いわゆる杉原千畝の「命のビザ」を携えたユダヤ難民が第三国(アメリカ、オーストラリア等)へ渡るために上陸した日本で唯一の港です。(当時の日本は通過するのにビザが必要でした)

館内ではシアターで「人道の港・敦賀」を映像で15分程観た後に、ボランティア・ガイドさんが説明してくれます。

また、ムゼウムの周辺には赤レンガ倉庫やモニュメント「自由への扉」、天満神社などもあり、ゆっくり散策するのも良いでしょう。



敦賀ムゼウム外観



敦賀ムゼウム内部

海外旅行がなかなか復活しないのは残念ではありますが、逆にこのために国内観光地が深堀され、新しい観光地が知られるという側面もあるようです。

ぜひこの機会に添乗員として日本国内の新しい観光地も学びたいものです。



一般社団法人

全国旅行業協会

ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

<(一社)全国旅行業協会 事務受託会社>
<(一社)全国旅行業協会 指定保険代理店>

株式会社 旅行ビジネスサポート

「地旅」で出会う 日本の笑顔 でかけよう 東海・北陸・信越！ 魅力的な日本へ！



—— ANTAは送客支援を通じて日本各地の観光振興を応援します ——

観光復興支援
キャンペーン実施中

正確な情報を提供します
風評被害の払拭に取り組みます
被災地をはじめ日本各地への送客を支援します

旅行・観光消費動向調査

(2024年7-9月期 速報)

～ 2024年7-9月期の国内旅行消費額は7兆3,360億円～

日本人国内旅行消費額

2024年7-9月期の日本人国内旅行消費額(速報)は7兆3,360億円(2019年同期比9.6%増、前年同期比14.7%増)となった。

日本人国内旅行消費額のうち、宿泊旅行消費額が6兆250億円(2019年同期比10.9%増、前年同期比13.6%増)、日帰り旅行消費額が1兆3,110億円(2019年同期比4.1%増、前年同期比20.0%増)となった。

日本人国内延べ旅行者数、 日本人国内旅行の1人1回当たり旅行支出(旅行単価)

2024年7-9月期の日本人国内延べ旅行者数(速報)は1億5,411万人(2019年同期比9.0%減、前年同期比8.9%増)、うち宿泊旅行が8,554万人(2019年同期比10.0%減、前年同期比5.2%増)、日帰り旅行が6,857万人(2019年同期比7.7%減、前年同期比13.9%増)となった。

2024年7-9月期の日本人国内旅行の1人1回当たり旅行支出(旅行単価)※(速報)は47,603円/人(2019年同期比20.4%増、前年同期比5.3%増)、宿泊の有無で見ると、宿泊旅行が70,439円/人(2019年同期比23.2%増、前年同期比8.0%増)、日帰り旅行が19,118円/人(2019年同期比12.8%増、前年同期比5.4%増)となった。

※1人1回当たり旅行支出(旅行単価)には、参加費、交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費等が含まれる。

【観光庁による主要旅行業者への聞き取り】



令和6年9月～11月 正会員入会者

令和6年11月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R06.11.28 R06.11.29	東京都 2-8654	newmo (株)	青柳 直樹
R06.10.17 R06.11.27	東京都 3-8658	(株)露地	山田ひろみ
R06.11.07 R06.11.08	東京都 2-8665	(株)カラフルワールド	吴 鵬
R06.11.14 R06.11.25	東京都 2-8668	(株)東京山側DMC	宮入 正陽
R06.11.21 R06.11.26	東京都 3-8672	(株)喜舎	楊 湧
R06.11.18 R06.11.20	愛知県 2-1562	ららトラベル(同)	森 幸治
R06.11.29 R06.11.29	愛知県 2-1564	(一社)渥美半島観光ビューロー	石黒 功
R06.11.25 R06.11.28	京都府 3-985	ヴェルトライゼ(株)	黒木 友規
R06.11.25 R06.11.29	京都府 3-986	(株)House Plus	范 洪愷
R06.10.28 R06.11.01	大阪府 2-3239	(一財)環境事業協会	松本 高秋
R06.11.01 R06.11.14	兵庫県 3-874	8th	須山 里奈
R06.11.01 R06.11.07	奈良県 3-249	(同)トラベラクシオン	富田 早希
R06.11.18 R06.11.19	岡山県 3-428	(株)Trip Three	池田 泰史
R06.10.22 R06.11.01	福岡県 3-1030	(株)FAT Community	宮脇 太
R02.10.19 R06.11.27	沖縄県 3-442	(株)リゾートワークス	柳田 将司
R06.11.29 R06.11.29	沖縄県 3-503	Wetrip japan (株)	祝 雪嬌
R06.11.20 R03.06.08	神奈川県 3-1281※	(株)らんぷ	大久保美恵子
R06.11.08 S56.05.20	徳島県 3-174※	山瀬観光(有)	藤田 良

登録番号の※印は当協会制度の「会員資格継続」による入会者を示す。

令和7年度 会費納入のご準備につきまして

令和7年度の協会会費につきましては、新年度(4月1日現在)在籍の会員の皆様に、ご納入の案内をさせていただきます。行政庁にお届けされている旅行業登録事項の変更(社名、所在地、種別、営業所の新設・廃止等)を予定されている方は、お早めに所属支部までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

令和6年9月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R06.09.11 R06.09.18	山形県 3-303	(有)サイトシーイング蔵王	小田切正裕
R06.09.27 R06.09.27	福島県 2-390	会津交通観光トリップ(株)	室野井 聡
R06.09.12 R06.09.13	東京都 2-8638	(株)サクラウエルネスツアーズ	小林 利男
R06.09.19 R06.09.19	東京都 3-8643	平野商事(株)	平野 芳子
R06.09.26 R06.09.30	東京都 3-8646	(株)DTRAVEL	小暮 洋一
R06.09.13 R06.09.25	新潟県 地-468	(一社)燕市観光協会	山崎 悦次
R06.09.12 R06.09.30	長野県 3-703	シヨクバイ(株)	林 志洋
R06.08.30 R06.09.04	富山県 3-315	(株)ジェル	笹山 良子

令和6年10月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R06.10.01 R06.10.04	北海道 3-893	(同)旅ピリカ	横濱 成行
R06.10.01 R06.10.07	北海道 3-894	(株)ジェイライブ	何 强
R06.10.04 R06.10.08	北海道 2-895	はにうサービス(有)	羽生 功二
R06.10.08 R06.10.15	北海道 3-896	Lemone(株)	寺井裕美子
R06.09.27 R06.10.03	福島県 3-389	(株)くさの	草野 利勝
R06.10.01 R06.10.09	栃木県 2-756	ちとせ観光	金崎めぐみ
R06.10.15 R06.10.17	千葉県 3-1122	3S(株)	ラコズ・スマンパラサダ
H28.12.01 R06.10.09	東京都 3-7266	JAPAN TRAVEL(同)	グエン・ヴァン・フン
R06.07.11 R06.10.09	東京都 2-8609	(株)biima	田村 恵彦
R06.10.04 R06.10.10	神奈川県 2-1277	(株)鈴乃屋	丸山 伸一
R05.05.17 R06.10.09	福井県 地-254	(一社)SOE	内田 徹
R06.09.25 R06.10.22	福井県 3-260	ニュー交通観光(株)	須磨 光浩
R06.10.01 R06.10.02	静岡県 2-726	(株)JIT	小林 英之
R06.10.07 R06.10.15	愛知県 2-1561	(株)EGAO GROUP	服部 良男
R06.09.26 R06.10.10	大阪府 2-3230	KEPU(株)	ソ ウエイミン
R06.10.03 R06.10.04	大阪府 3-3233	ネオウイング観光(株)	山崎 修平
R06.10.04 R06.10.21	兵庫県 3-872	(株)SBC	山口 和也
R06.10.04 R06.10.11	兵庫県 3-873	(同)百景	飯田勇太郎
R06.10.23 R06.10.25	奈良県 3-248	ジョイアストリップ旅行社	田中 秀明
R06.09.20 R06.10.03	香川県 地-277	讃岐煉瓦(株)	川崎 善之
R06.10.08 R06.10.16	鹿児島県 地-302	(株)宇検村元気の出る公社	元山 公知
R06.09.09 H26.07.25	静岡県 3-725※	鈴恵観光	陳 秀玉
R06.09.30 R04.10.11	奈良県 3-247※	(同)旅行企画飛鳥	西谷 文夫

沖縄県・宮古島

宮古島の美しい海を豪華にクルージング
ベイクルーズ・宮古島 モンブラン

海中展望型客船「モンブラン」で宮古島の美しい海を、贅沢にクルージング。素晴らしい食事と美しい景色が宮古島での最高のひとときを演出します。

■ランチクルーズ

船窓に広がる景色を際立たせるゴージャスな内装や、海中を見渡せるアクアラウンジのエンターテイメント性にきつと今までにない新鮮な驚きと感動を味わえることでしょ。アクアラウンジは天井まで3メートル開放感ある空間で、服を着たまま、ゆつくりと海中をご覧いただけます。和洋中約20種類のbuffetをご堪能いただきますながら、宮古フルをお楽しみいただけます。

■ディナークルーズ

ディナークルーズでは宮古ブルーの海が茜色に染まる時間を優雅にお楽しみいただけます。お飲み物を片手に3階スカイデッキで夕陽を眺める。そんな非日常の時間をお楽しみ下さい。

詳しくはホームページをご覧ください
WEB <https://www.hayate-nonblanc.com>

■ご予約お問い合わせは
ベイクルーズ宮古島 株式会社 はやて
TEL 0980(72)6641
FAX 0980(79)0408



宮古島の海を優雅にクルージングする「モンブラン」



料理(一例)



アクアラウンジ

IT導入補助金(1/2補助)使えます!

インボイス制度対応済

電子帳簿保存法対応

クラウド版 Webでテレワーク可能

できます!

あっという間に**行程表・見積書**ができる

旅行業営業支援
ネットワークシステム

TR.NS

旅行業システムSP



業界最大級のデータベース搭載

2023年01月末現在

観光施設データ

約163,554件

道路・移動データ

時間・距離・料金

宿泊施設データ

約18,124件

時刻表データ

鉄道・飛行機・船

学校地点データ

約35,110件



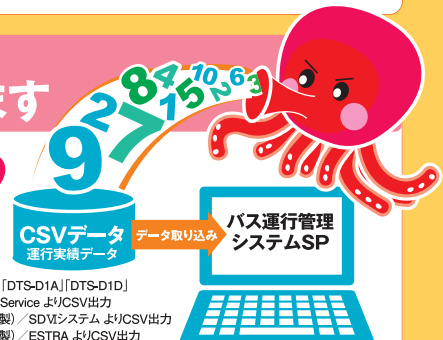
しっかりしたいコトは何ですか?
引受書・指示書が簡単にできます

バス運行管理システムSP

大好評! 旅行業システムと連動します

バス料金見積上限下限を正しく(引受書に)記載できていますか?

●「DTS-C1」「DTS-C1D」「DTS-D1A」「DTS-D1D」
(富士通製) / ITP-WebService よりCSV出力
●「DTG3」「DTG4」(矢崎製) / SDVシステム よりCSV出力
●「DTG5」「DTG7」(矢崎製) / ESTRA よりCSV出力



※当サービスの内容については万全を期していますが、弊社は一切誤りがないことを保証しません。

商品の詳しい説明や、資料請求・無料デモのお申込みは
<https://www.traveroute.jp/>
メールでのお問い合わせはproduct_info@broadleaf.co.jp



株式会社ブロードリーフ 特販部

トラベルルート

検索

0120-47-2610

受付時間 9:00~17:30(土日祝・年末年始を除く)

Copyright © 2023 Broadleaf Co., Ltd.

全旅協の動き

(令和6年12月~令和7年2月)

令和6年

12月

会議名等

- 3日(火) 福旅協共栄会・石旅協共栄会合同総会(石川)
3日~4日 令和6年度旅程管理研修(仙台・東京・大阪・広島)
5日(木) 苦情対応セミナー(広島)
6日(金) 2024年度第1回東海地方支部長連絡会(愛知)
9日~11日 第38回日韓観光振興協議会(韓国)
10日(火) 苦情対応勉強会(山口)
13日(金) 旅行業公正取引協議会第4回理事会(東京)
〃 第491回三役会
17日(火) (株)全旅 第8回取締役会(東京)
19日(木) 近畿地方支部長連絡会(京都)
20日(金) 関東地方支部長連絡会支部長会議(茨城)

令和7年

1月

- 14日(火) R6年度 第2回東北地方支部長連絡会 / 2024.7 山形豪雨災害復興支援合同懇親会(山形)
15日(水) 観光立国推進協議会(東京)
〃 観光関係者新春交流会(東京)
16日(木) 第492回三役会
〃 第58回常任理事会
17日(金) 苦情対応セミナー(東京)
23日(木) 第119回試験研修委員会
28日(火) 第19回国内観光活性化フォーラム in 東京(東京)

2月

- 5日(水) 令和6年度 定期研修(大阪)
6日(木) 第78回苦情弁済委員会
14日(金) 第55回経営推進委員会
17日(月) 第53回指導調査広報委員会
19日(水) 第64回総務財務委員会
2月25日 令和6年度 定期研修(オンライン③)
〃
3月10日
26日(水) (一社)添乗サービス協会 理事会(東京)
27日(木) 令和6年度 定期研修(東京)
〃 第3・四半期監事監査



()内は開催地。無記載は全旅協本部事務局。

渡航情報(スポット情報)

問い合わせ先

- ◆外務省領事局 領事サービスセンター(海外安全担当)
TEL: 03-3580-3311(代表)(内線 2902・2903) TEL: 03-5501-8162(直通)
平日 9:00~12:30 / 13:30~17:00 土日祝日は休み
- ◆インターネット / 外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

全旅協〈旅行災害補償制度〉で

安心をシッカリとかたちにしています。



幹事会社／損害保険ジャパン株式会社



副幹事会社／東京海上日動火災保険株式会社



三井住友海上火災保険株式会社



「全旅協旅行災害補償制度」のお問い合わせは、下記
までお願い致します。

損害保険ジャパン株式会社

企業営業第八部第四課

〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10

TEL.03(3231)2201